

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(3/14)未定稿

文・写真：武田、写真：山 國

日 時：2019(平成 31)年 3 月 14 日(木) 9:30～15:00

気 象：天候=曇 一時 霰(気温：2℃)

活動エリア：「45 林班に-01」(作業小屋周辺)、

活動内容：林床整備と枯損木などの除伐

参加者：(会員)石原順子、泉家恵子、後藤和子、武田壽夫(午前)、宮本 廣(午前)、山 國 計 6 名

*所用で作業不参加の斧田会員は車で参加者の上下山をサポート

<一週間のご無沙汰で……>

悪天候の予報を避けて取り止めた前週の代替日、お山には先ず一週間のご無沙汰をお詫び。繰り延べた関係上、仕事など都合のつかぬ会員が多い。おまけに武田、宮本の両名は野暮用で午後は下山ということで、午前 6 名、午後 4 名での活動となる。霰も通る中、一日頑張ったお四方にはただただ「脱帽」。小人数なので作業は「45 林班に-01」の小屋の周辺で。一帯は近場とは言え、日頃は他所の整備を優先してきた関係上、台風の後遺症が随所に残っている。

*「一週間のご無沙汰で」：「ロッセ歌のアルバム」司会者の玉置 宏アナのオープニング・メッセージ

<今日の成果>

午前は枝掛りして倒せていなかった進入路脇の高木と枯損木(径 30cm モノ一本、20cm モノ 2 本)をお片付け。進入路の高木は脚立まで持ち出し「達磨落とし」的に玉切りを重ねて処理したもの。4 人に減った午後は溝切りや落枝の整理など、小屋周りを整備。

<山だより>

JAC 関西会員・神大学生合同の冬山訓練(於:氷ノ山、井上会員提供)と山 國会員の「アセビの花」。

—2/7 報告に掲載のヒサカキの花はアセビの間違いとのこと。

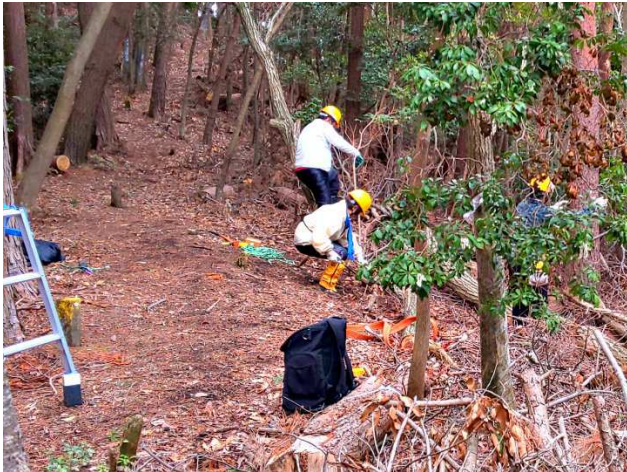
① (一寸ピンボケ)集合写真



② 未処理だった枝掛り木



③ 脚立も使い切り落とす(秘術「達磨落とし」)



④ 重なった落枝の整理(棚積み)



⑤ 曲がった木を除伐中



⑥ 溝切りでスッキリした小屋周り



⑦ 残雪の氷ノ山(「千本杉ヒュッテ前」)
—山岳会関西支部と神大の一行



⑧ ヒサカキでなく、これはアセビの花

